



●区政レポート 区政レポートは年4回程度発行しています。区政トピックスや地域ニュースなど皆さまに役立つ情報をお届けしています。ご希望の方には、郵送させていただきます。

CONTENTS

- 令和7年度予算が成立
- 光が丘医療福祉プラザが開設
- 豊溪中学校統廃合に関する質疑
- 夏休み等の学童クラブ昼食提供
- 練馬こぶしハーフマラソン初出場

練馬の力

成立 令和7年度予算

昨年、練馬区はオーストラリア・イプスウィッチ市との友好都市提携30周年を迎えました。これを記念し、今年1月にイプスウィッチ市のテレサ・ハーディング市長をはじめとする訪問団が練馬区を訪れました。私も「練馬区議会海外都市との友好交流議連 副会長」として、お出迎えし、交流を深めました。

また、2月から3月にかけて練馬区議会第1回定例会が開催され、来年度の予算について審議を行いました。令和7年度の一般会計当初予算額は約3,517億円（前年度比約286億円増）で、4年連続で過去最大を更新しました。この背景には、特別区財政調整交付金が都との配分割合の引き上げや好調な企業業績により増加したことに加え、特別区民税も納税義務者数の増加や賃金上昇等により増加したことがあります。一方で、ふるさと納税による減収は年々拡大し、令和7年度は58億円に達する見通しです。また、長期金利の上昇は、起債発行における利払い費の増加を招き、財政にとって新たな制約要因となる可能性があります。

これからは、社会情勢の変化に柔軟に対応し、区民生活や地域経済の支援といった重要分野にはしっかりと予算を確保する一方で、全事業の不断の見直しを進めることが求められます。また、大江戸線の延伸や地域ごとのまちづくり、さらには子育て・教育施策の拡充等は、練馬区の人口増加や税収向上につながる「未来への投資」です。税収を「どう使うか」だけでなく、「どう増やすか」という経営視点を持ち、未来への積極的な投資を推進することで、自治体経営をさらに前進させることが重要です。

物価上昇を上回る手取りを実現し、区民の皆さんが生活の向上を実感できるよう、引き続き区民生活および地域経済の支援拡充に取り組んでまいります。



写真中央：テレサ・ハーディング市長

開設 光が丘医療福祉プラザ

今月、「光が丘医療福祉プラザ」が練馬光が丘病院の跡地に開設されました。超高齢社会における医療と介護の連携強化が喫緊の課題となるなか、その解決に向けて計画・建設された施設です。医療と介護が一体となった複合施設として、入院から在宅生活まで切れ目のないサービスを提供します。

詳しくは、YouTube「佐藤力チャンネル」で紹介していますので、ぜひご覧ください。

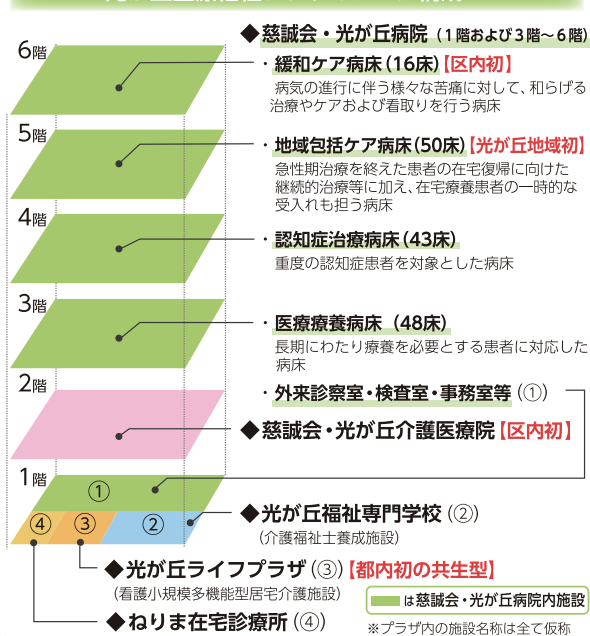
YouTube
「光が丘医療福祉プラザ」
紹介動画はこちら



光が丘医療福祉プラザ（外観）



光が丘医療福祉プラザのフロア構成



質疑

豊溪中学校の統廃合

予算特別委員会において、以下のとおり教育委員会と質疑を行いました。その結果、教育委員会から「**計画策定期の見直しが必要であり、4月以降も保護者向け個人説明会などを行い、寄せられた意見を踏まえて計画案を検討していく**」との方針が示されました。

私は、少子化が進行する中で、**公立学校も従来の「生徒が自然と集まることを前提とした運営」から、「どのように生徒を獲得するか」「そのためにどのような教育を提供すべきか」という経営的な視点を持った学校運営が必要**であると考えています。そして、そのためには**教育に対する予算を拡充し、魅力ある学校づくりを進める**ことが不可欠です。

例えば、区内の国際バカロレア校のように特色ある教育を取り入れる、民間出身の校長を登用するといったように、各校が明確な教育方針を打ち出すことが重要です。豊溪中学校も、現在の少人数教育をさらに発展させ、一人ひとりに最適な学習環境を整えるなど、より特色ある学校づくりを進めることで、生徒数の増加も十分に可能だと考えます。



力の提言・質問

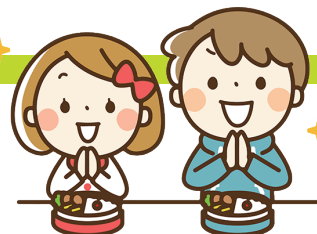
- ① 計画の公表から決定までわずか4か月、統廃合まで約4年というスケジュールで、本当に地域や保護者の理解を得られると考えていたのか。
- ② 令和6年4月に学校運営協議会が発足し、地域とともに豊溪中学校を盛り上げようとした矢先に統廃合計画が示された。これでは、地域を軽視していると言わざるを得ない。
- ③ 小規模校の課題は以前から指摘されていたが、教育委員会として具体的にどのように解決に取り組んできたのか。
- ④ 校舎は築59年を超えているが、あと何年使用可能か。また、地域からは、校舎を解体した場合、子供向け施設や防災機能を備えた施設の整備を求める声もあるが、新たな施設を整備する可能性はあるのか。
- ⑤ 地域や保護者からの質問に対する回答が抽象的で、情報が不足しているため、適切な判断ができない。具体的な情報を提供するとともに、今後は合意形成を目指し、説明会形式ではなく、意見交換会形式での実施を。

区からの回答

- ① 計画素案を説明し、理解を得ながら計画決定を進めていきたいと考えている。説明会の再開を求める声があり、3月22日に説明会を開催することとした。
- ② 学校運営協議会は、今後全区的に展開していく方針であり、協議会の有無をもって適正配置の対象から除外することは困難である。
- ③ ICT環境の整備や支援員の派遣などの対策を講じてきたが、生徒数の大きな変化は見られていない。
- ④ 築60年を超えた校舎について、「あと何年使用できる」といった具体的な基準は持っていない。跡地活用については、地域の意見を伺いながら検討していく。
- ⑤ 質問には丁寧に回答していく。また、説明会形式以外の方法についても、適切な手法を検討していく。

導入 夏休み等の学童クラブ昼食提供

これまで、長期休業中の学童クラブでお弁当を注文できる仕組みを求める声を受け、**個別の導入支援や議会での提案**を行ってきました。その結果、**令和7年度から全学童クラブで導入**されることになりました。



「練馬こぶしハーフマラソン」初出場、悲願の完走！

3月23日、晴天のもと「練馬こぶしハーフマラソン」が開催されました。練馬区内を舞台に、約5,000人のランナーが駆け抜けるこの大会に、私も初めて出場し、無事に完走しました。この大会は、私が**練馬区職員時代にゼロから立ち上げに携わった、思い入れの深いイベント**です。多くの困難を乗り越えて実現した大会に、今回はランナーとして参加し、**沿道からの温かい声援や多くのボランティアの皆さんの支えを改めて実感**しました。普段とは違う視点で練馬の街を眺めながら、応援の力に励まされて駆け抜けた21kmは、本当に貴重な体験でした。ぜひ皆さんも、「練馬こぶしハーフマラソン」にチャレンジしてみてください！



完走後に上野ひろみ幹事長と



PROFILE

昭和60年（1985年）練馬区生まれ 練馬区育ち。39歳。練馬区議会自由民主党 政調会長。区民生活委員会 委員長。練馬区立開進第一小、早稲田実業学校 中部部・高等部、早稲田大学政治経済学部 卒業。練馬区役所に9年勤務。働きながら、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院 修了（MBA）。公募にて自民党公認を得て、平成31年練馬区議会議員選挙にて初当選（7,720票／第3位／新人トップ）。令和5年再選（8,421票／第2位）。
 ●所属委員会：区民生活委員会、総合・災害対策等特別委員会 ●家族：妻・長男（11才）・長女（7才）・次女（5才）
 ●区役所での実績：「練馬こぶしハーフマラソン」立ち上げ、「よりどりみどり練馬」テレビCM制作、職員表彰 受賞（9年間で4回）
 ●地域活動など：ねりババ（練馬イクメンババプロジェクト）副代表、「池袋掃除の会」立上げ、練馬区珠算教育連盟 顧問



佐藤力事務所



〒179-0076 練馬区土支田 1-6-19
 TEL & FAX：03-4500-1756
 公式 HP：https://satoriki.net/



配信中! YouTube
 「佐藤 力チャンネル」

YouTubeで、練馬区政に限らず、皆さんに
 タメになる情報を幅広く発信しています。
 原則、毎週土曜日に配信中!



区政レポート、郵送します!

区政トピックスや地域
 ニュースなど皆さんに
 役立つ情報をお届けし
 ています。
 年4回発行。無料。



郵送申込みはこちら